

ウクライナの悲惨な状況、2年も続くパンデミックという世界情勢のなか、明るい光がみえにくくなっています。世界を覆うこの閉塞感は多くの方が大なり小なり感じていることだと思います。新年度を迎えて本来は希望に胸膨らませて入学してくる学生さん達にとっても気の毒な環境ですが何とか前向きに頑張ってもらいたいものです。

さて、外での活動が制限されるなか、また私自身の環境の変化もあって、本を読む機会は確実に増えました。今までは、本を二度読みすることはあまりなく、多くの本は読み終わると手放していましたが、手元に残した一部の本を読み直してみると存外おもしろいものだと思うようになりました。今、たまたま、柄にもなく、学生時代に一度読んだ「フランス語のすすめ（小林正著）」を読み直したばかりですが、こんな簡単なことも理解していなかったのかという発見ばかりで呆れるとともに楽しんでいきます。

そのなかで、フランス語で話したり書いたりする場合、事件記者の要領がそのままあてはまるのですよ、というくだりがあります。ずっと昔にあった「事件記者」というテレビ番組で、老記者が若い記者の前で、正確な記事にするためには次のような要領で記事を書け、という場面があったそうです：1) 誰が、2) 誰と、3) いつ、4) どこで、5) 誰に対して、6) 何故、7) どんな方法で、8) 何をしたか。

これは、情報を伝える際の基本として誰もが知っている「5W1H: When, Where, Who, What, Why, How」と同じようなことで、目新しいことではありませんが、今、こういったことをあらためて目にとると、医療の進歩のために正確な診療情報を共有する目的の「症例報告」にも当てはまることに気づかされます。ただし、症例報告における正確な情報伝達においては、現在では、個人情報との兼ね合いが大きな問題になります。

Whoは以前から○歳○性ですが、Whenについては対応が変わりました。個人情報との兼ね合いから、受診日を○年○月○日と書くことはなくなり、受診年さえ記載されない報告も多くなっています。ただ、それがいつ頃の症例なのかかわからないと、薬物療法等について疑問が生じる場合もしばしばありますし、ときには季節が問題になるケースもあります。

現在、本誌の投稿規定には、「患者個人の特定防止のため、明確な日付の記載は避けてください。なお、本文中では経過がわかるような表現としてください。例）初診：2010年10月下旬、2010年10月、2010年10月下旬頃より～、初診7日前から～」と記載されています。

初診年月は記載がなくとも強要はしていませんが、やはり、少なくとも「年」、できれば「年月」の記載がないと、報告としては不十分のように感じています。

（土田哲也）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第64巻 第4号 4月号

2022年4月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。